

1. 管理室

当室の担当業務（表1）の平成26年度の実施内容は、以下のとおりであった。

表1 管理室の担当業務

1 業務の企画、総合調整および評価
(1) 企画運営会議の運営
(2) 機関評価・研究課題評価委員会の運営
(3) 倫理審査委員会の運営
(4) 他機関との連絡調整
2 衛生および環境に関する情報収集・提供
(1) 保健衛生に関する情報提供
(2) 環境情報総合処理システムによる情報提供
(3) 花粉情報の提供
(4) 研究センター活動情報の発信
(5) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営
3 衛生および環境に関する教育および学習の推進
(1) 衛生・環境教室等の開催
(2) 環境情報コーナーの運営
4 衛生検査関係者および環境技術者の研修および指導
(1) 技術研修会の開催
(2) 研修生の受入れ
(3) 所内研究発表会の開催
5 調査研究
6 庶務

1. 1 業務の企画、総合調整および評価

(1) 企画運営会議の運営

所長、部室長、総括研究員および所長が指名する者で構成する企画運営会議を運営し、当センターの試験研究の計画等について審議した。

(2) 機関評価・研究課題評価委員会の運営

企画運営会議と同メンバーで構成する内部評価委員会、および学識経験者、企業経営者など委員8名で構成する機関評価・研究課題評価委員会（外部評価委員会）を表2のとおり運営した。

外部評価委員会の委員名ならびに委員会の評価結果については、I 運営概要の6. 研究課題評価に記載した。なお、外部評価委員会には本庁関係課にオブザーバーとして参加協力を得た。

表2 研究課題評価委員会の運営状況

年月日	内 容
H26.6.24 6.25	・内部評価委員会の開催 (事前5題、中間10題、終了11題)
8.18	・内部評価結果報告
8.26	・外部評価委員会の開催 機関評価および研究課題評価 (事前5題、中間3題、終了8題)
11.21	・評価結果報告

(3) 倫理審査委員会の運営

医師・弁護士など外部委員7名で構成する倫理審査委員会を運営した。

平成26年度は保健衛生部の研究課題3件について倫理的観点から審査に付議した。

委員名ならびに審査結果については、I 運営概要の7. 倫理審査に記載した。

(4) 他機関との連絡調整

北陸三県環境研究所、福井大学地域環境研究センター、本庁の地域産業・技術振興課産学官連携推進室等との連絡調整の窓口を務めた。

1. 2 衛生および環境に関する情報収集・提供

(1) 環境情報総合処理システムによる情報提供

環境情報のホームページ「みどりネット」の登録情報の追加更新、データベース更新等を行った。

(「みどりネット」：<http://www.erc.pref.fukui.jp/>)

① ホームページ登録情報の追加更新

- ・平成26年度環境白書(本編・資料編)
- ・平成25年度ダイオキシン類調査結果について
- ・平成25年度公共用水域および地下水の水質の測定結果および平成27年度計画について
- ・平成25年度自動車交通騒音常時監視調査結果について
- ・平成25年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について
- ・平成26年度海水浴場の水質調査結果について

② データベース更新

- ・環境関係事業場届出更新
- ・公共用水域水質測定データ（平成25年度分）
- ・衛生環境研究センター年報－調査研究報告題名（平成25年度分）等

(2) 花粉情報の提供

① ホームページによる情報提供

福井市、敦賀市におけるスギ、ヒノキ花粉飛散シーズン中の毎日の飛散量や飛散予報、ならびに花粉症や花粉に関する情報をホームページ上で情報発信した。

なお、飛散量測定は、福井市分については当センターの所員で構成する花粉情報提供システム推進チームの測定班が行い、敦賀市分については二州健康福祉センター所員の協力を得て行った。

(「福井県花粉情報ホームページ」：

<http://web.erc.pref.fukui.jp/>)

② マスメディアによる情報提供

花粉飛散の状況等について、報道機関（新聞・テレビ）の要望に応じて情報提供した。

(3) 研究センター活動情報の発信

① 所報・広報誌の編集・発行（所報、広報誌委員会）

衛生環境研究センター年報（平成25年度）を発行した（11月）。また、広報誌「衛環研だより」（第15号、第16号）を発行した（9月、3月）。

② センターホームページの運用

当センターの業務・活動内容について情報発信したほか、所報等の刊行物の内容を掲載した。

(<http://www.erc.pref.fukui.jp/center/>)

③ 環境研究紹介パネルの作成・展示

当センターの環境研究を紹介するパネルを環境部の

協力を得て作成し、環境科学体験デー（平成26年6月8日）、県庁ホールでの展示（平成26年6月16日～20日）および他県立図書館等7か所で展示した（延べ49日間）。また、当センター内においても常設展示を行った。

(4) 専門雑誌等の受入れおよび情報システム運営

① 専門雑誌等の受入れ（図書・情報委員会）
専門雑誌・行政資料の受付、データベース登録、ならびに図書等の整理・管理を行った。

② 情報システム運営

環境情報総合処理システムや公設試験研究機関科学技術情報ネットワークシステムを適切に運用するため、設備や情報の維持管理を行った。

1. 3 衛生および環境に関する教育および学習の推進

(1) 衛生・環境教室等の開催

一般県民や小中学生向けの衛生教室や環境教室等の開催の企画調整を行った。平成26年度の実施状況は表3のとおりであった。

表3 衛生・環境教室等実施状況

年月日	事業	対 象 者	参加者
H26.6.8	環境科学体験デー	一般県民	200名
6.1 ～6.30	施設一般公開	一般県民	57名
7.15	衛生・環境教室出前講座 (明新小学校)	小学6年生	35名
7.19	環境教室出前講座 (海浜自然センター)	一般県民	28名
7.29	夏休み衛生・環境教室 ＜衛生教室＞	小学生と 保護者	50名
7.29	夏休み衛生・環境教室 ＜環境教室＞	小学生と 保護者	35名
8.19	環境教室 (大東中学校)	中学生	15名
8.21	施設見学 (県内特別支援学校調理関係者)	調理関係者	37名
10.11 ～12	イベント出展 (ふくい環境フェア)	一般県民	—
10.30	衛生・環境教室 (金津中学校)	中学1年生	24名
11.12	施設見学(盲学校)	生徒	2名
12.5	環境教室出前講座 (清水西小学校)	小学5年生	40名
H27.1.29	環境教室 (殿下中学校)	中学2年生	2名
2.16	施設見学 (中国浙江省研修生)	研修生	1名
3.26 ～27	イベント出展 (福井原子力センター)	一般県民	167名

各教室等の内容は概ね以下のとおりであった。

・環境科学体験デー

- 実験・体験・見学コーナー
- ア 発電の仕組みや節電の効果
- イ 顕微鏡での花粉観察
- ウ 透視度計での水質測定

エ サーモカメラの体験・撮影

オ 液体窒素を使った凍結実験

○ パネル展示コーナー

○ エコバッグ配布

・衛生教室

ア 食中毒予防について学習

イ 正しい手の洗い方の実技指導

ウ 食品添加物実験

・環境教室

ア 排気ガスの汚れ調査実験

イ 水質パックテスト実験

ウ 地球温暖化について学習

エ 省エネについて学習・実験

オ 電気自動車の試乗体験

・夏休み衛生・環境教室

衛生教室：食中毒菌などの細菌観察

食品着色料の調査

環境教室：家庭での省エネルギー

水の汚れ測定

(2) 環境情報コーナーの運営

当センター内に設置した「環境情報コーナー」において、環境図書、ビデオ、パネルの展示を行うとともに、要望に応じて貸出を行った。

1. 4 衛生検査関係者および環境技術者の研修指導

(1) 技術研修会の開催

当センターが主催した各種研修会（表4）において、連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

表4 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の開催状況

年月日	研 修 内 容 な ど
H26.5.9	環境担当職員基礎技術研修会 ・センター業務（環境関係）について ・平成 26 年度の環境保全対策事業について ・環境情報システムーみどりネット等一の活用法について ・騒音・振動測定の留意点について ・水質異常時における対応について (講師：環境部、管理室ほか 参加者15名)
H26.12.4	感染症基礎研修会 ・病原体サーベイランスについて ・インフルエンザ流行予測調査結果および検査状況について ・最近の感染症トピックス ・日本紅斑熱発生地方におけるマダニ調査 ・腸管出血性大腸菌感染症発生状況 (講師：保健衛生部 参加者11名)
H27.3.6	衛生環境研究センター研修会 ・講演：「PM _{2.5} の現状と見通しについて」 (講師：国立環境研究所 菅田誠治氏) ・報告：「福井県におけるPM _{2.5} の実態は… ～ PM _{2.5} 成分分析結果から～」 (報告者：環境部 福島主事) (調整：環境部 参加者 36名)

(2) 研修生、見学者の受入れ

研修生等の受入れの連絡調整や当室の業務に関する部分の講師を担当した。

① 福井大学医学部環境保健学実習生

- ・ 学生数 4年生10名
(保健衛生分野5名、環境保全分野5名)
- ・ 期日 平成26年5月9日～6月20日の金曜日
(計7日間)
- ・ 内容
保健衛生分野：病原微生物、食品衛生、健康長寿などに関する講義と実習
環境保全分野：大気汚染、水質環境、常時監視などに関する講義と実習

② 福井県立大学生物資源学部実習生

- ・ 学生数 2年生54名
- ・ 期日 平成26年6月27日
- ・ 内容 保健衛生・環境保全分野の業務学習

③ インターンシップ研修生

学生が在学中に就業体験をするインターンシップ制度(福井県インターンシップ推進協議会 事務局：福井県経営者協会)に協力し、学生を受け入れた。

- ・ 学生数 5名
- ・ 期日 平成26年9月1日～5日 (5日間)
- ・ 内容
当センターにおける保健衛生・環境保全対策業務について

(3) 所内研究発表会の開催

職員研修の一環として開催した(期日：平成27年3月9日)。発表演題は、「IV発表抄録 目次」に記載した。また福井大学、県原子力環境監視センターおよび県建設術研究センターが聴講参加した。

1. 5 調査研究

平成26年度は、次の4課題の調査研究を実施した(当室職員が主担当となって実施したもの)。

- (1) 福井県におけるPM_{2.5}高濃度時の挙動解明に関する研究
(研究期間：平成26～28年度)(環境部と連携)
- (2) 県内スギ・ヒノキ花粉の飛散予測および情報提供に関する研究
(研究期間：平成24～26年度)(保健衛生部、環境部と連携)
詳細はⅢ 調査研究に記載
- (3) PM_{2.5}の短期的／長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明(国立環境研究所Ⅱ型共同研究)
(研究期間：平成25～27年度)(環境部と連携)
- (4) 福井県における飛来物質の実態に関する研究(福井大学との共同研究)
(研究期間：平成24～26年度)(環境部と連携)
詳細はⅢ 調査研究に記載